

# オープンアクセス推進事業 意義と成果

オープンアクセス推進事業プロジェクトチーム

杉田茂樹（附属図書館学術支援課）

行友三輪子（附属図書館図書館企画課図書館企画掛）

宮田怜（附属図書館学術支援課学術支援掛）

村上史歩（附属図書館学術支援課研究支援掛）

oa-pt@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

令和4年3月10日

# オープンアクセス推進事業

- オープンアクセス推進基盤の構築と拡充
- コンテンツの国際流通性の向上
- オープンアクセスからオープンサイエンスへ

連携事業 学内17事業、学外5事業  
連携組織 学内8組織、学外14組織

学術資源（学術研究へのインプット）

京都大学の図書館室が  
保有する歴史的史資料



研究成果（学術研究のアウトプット）

京都大学の研究者が  
生み出した研究成果



## オープンアクセス推進基盤

# オープンアクセス推進基盤の構築と拡充

- 基本コンセプト：  
**学術研究のアウトプットとしての研究成果のオープン化に加え、インプットである学術資源のオープン化を両輪として推進**
    - 学術資源のオープン化：京都大学貴重資料デジタルアーカイブ
    - 研究成果のオープン化：京都大学学術情報リポジトリ（KURENAI）
  - リポジトリ登録システムの提供により円滑な研究成果公開を可能に
  - 資源・成果の公開ツールとして多彩なグッドプラクティスを誘発
    - KURENAIを通じたDOI取得、研究成果への付与
    - 研究論文投稿・発表時のエビデンスデータ公開
    - 研究過程で入手した学術資源のオープン化
    - 教材のオープン化
    - 他機関・プロジェクト連携 国際的共同事業やオンライン展示へ
- **「京都大学オープンアクセス方針」の実質化**  
**学術資源・研究成果の可視性向上**

# コンテンツの国際流通性の向上

- 国際標準に沿った規格の採用、新技術の開発
  - 文献識別子DOIの採用（CrossRef、DataCite、JaLC）
  - 画像情報の相互運用性向上のための国際規格IIIFの採用
    - 学内外との連携事業（プリンストン大学、国文学研究資料館、「デジタル富士川」等）
    - IIIFコンソーシアムへの参加（IIIF執行委員会委員に図書館機構が就任（2022））
    - WorldCat（世界の図書館蔵書総合目録）からの本学貴重資料検索実現
  - 貴重資料画像の二次利用自由化
  - 教育研究データベースとの連携による研究者識別子（ORCID）の表示
  - メタデータの充実・精緻化・アルファベット化、国立情報学研究所の新規約（JPCOARスキーマ）への準拠
  - 参考文献・引用文献情報の機械可読化（オープン・サイテーション）
  - 学術論文本文の機械可読性実現のための議論への参画
    - Open Research Knowledge Graph（2021図書館機構講演会）

## → コンテンツの価値向上

cf. KURENAIでの公開により被引用数が増加（西岡（附属図書館研究開発室）による調査）

## オープンアクセスの最先端大学としての国際的認知向上

# オープンアクセスから オープンサイエンスへ

- オープンアクセス推進モデルを国内に提示（前述コンセプト）
  - 「京都大学オープンアクセス方針」の実質化
  - 「京都大学研究データ管理・公開ポリシー」（2020）
    - 各部局において分野の特性を踏まえた実施方針を策定（進行中）
  - 研究論文のエビデンスデータのKURENAIからの公開
  - 海外の研究データ管理公開支援事例集の日本語化・公開
    - 大阪大学、神戸大学、奈良教育大学、奈良女子大学との協働
- **研究大学としてのプレゼンス向上**
- ✓ 令和2年度文部科学大臣表彰 科学技術賞
  - ✓ 令和2年度国立大学図書館協会賞

# 京都大学学術情報リポジトリ (KURENAI)

附属図書館学術支援課 村上 史歩・宮田 怜

京都大学



# 目次

1. 京都大学学術情報リポジトリ (KURENAI) の概要
2. 事業期間中 (2016-2021) に実施した主な事業
3. 後半期 (2019-2021) の新しい展開
  - 3-1. 多様なコンテンツの登録 (研究データ)
  - 3-2. 多様なコンテンツの登録 (教材)
  - 3-3. メタデータの高度化と利活用促進

# 1. 京都大学学術情報リポジトリ (KURENAI) の概要

- 2006年10月正式公開
- 京都大学で創造される**研究・教育成果をオープンアクセスで発信**するためのプラットフォーム
- 紀要論文・学術雑誌掲載論文等を中心に**20万件以上(国内第1位)**のコンテンツを収録(2022年2月末現在)

The screenshot shows the KURENAI website homepage. At the top, there is a navigation bar with links for Home, Browse, Access Ranking, Access Statistics, Kyoto University, and Library Organization. The main header features the KURENAI logo and the text 'Kyoto University Research Information Repository'. Below the header, there is a search bar and a section titled '京都大学学術情報リポジトリ (KURENAI) では、オープンアクセスを推進するプラットフォームとして、京都大学で日々創造される研究・教育成果 (学術雑誌掲載論文、学位論文、紀要論文など) をインターネット上で公開しています。' A list of recent updates is displayed, including news about PDF file design updates, Google Scholar ranking, and open access policies. On the right side, there are several promotional banners for 'Open Access Policy', 'Research Fee Waiver', and 'Registration System'. At the bottom, there is a section for 'Research Fields' and a link to the 'Kyoto University Electronic Journal'.

A vertical banner for KURENAI. The top section has the text '京大の論文を世界へ発信' (Disseminate Kyoto University's papers to the world) and a brief description of the repository. The middle section features a photograph of the Kyoto University campus and the text '京都大学学術情報リポジトリ KURENAI 紅 Kyoto University Research Information Repository' along with the URL 'http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/'. The bottom section is titled 'Sharing Kyoto University's Academic Output' and includes a small paragraph about the repository's mission.

<https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/>



# 1. 京都大学学術情報リポジトリ (KURENAI) の概要

Google Scholar search results for "日本古代の疫病とマクニール・モデル". The search results show approximately 15 items. A red box highlights the title "<論説> 日本古代の疫病とマクニール・モデル (特集: 病)". Below the title, there are options for PDF and Full-Text, and a link to the repository.

CiNii search results for "日本古代の疫病とマクニール・モデル (特集: 病)". The search results show the title "McNeil's Model and Pestilence in Ancient Japan" by Honjo Fusako. A red box highlights the "機関リポジトリ" (Institutional Repository) button. Below the button, there are links for NDL ONLINE and CiNii Books.

KURENAI (Kyoto University Research Information Repository) page for the article "日本古代の疫病とマクニール・モデル (特集: 病)". The page shows the title, author (Honjo Fusako), and a table of files. A red box highlights the "見る/開く" (View/Open) button for the PDF file "shirin\_103\_1\_7.pdf". A yellow callout box contains the text: "フルテキスト (全文ファイル) がダウンロードできます" (Full text (full text file) can be downloaded).

ファイル	記述	サイズ	フォーマット
shirin_103_1_7.pdf		1.98 MB	Adobe PDF

## 2. 事業期間中（2016-2021）に実施した主な事業

京都大学で創造された**研究・教育成果**を世界に発信することを目的として…

年度	主な事業
(2015)	・ 「京都大学オープンアクセス方針」を採択
2016	・ 「オープンアクセス方針」説明会を学内の部局等で開催
2017	・ 「リポジトリ登録システム」の正式運用を開始
2018	・ 『史林』のバックナンバー約50年分の登録公開
2019	・ 研究成果の根拠となる「研究データ」の登録を開始 ・ 『プログラミング演習 Python 2019』の登録公開
2020	・ 「京都大学研究データ管理・公開ポリシー」を採択 ・ JPCOARスキーマ対応のためのシステム改修
2021	・ 紀要2誌の一部の論文へ引用文献データを試行登録（オープン・サイテーション）

- 「オープンアクセス方針」の具体化
- 論文登録のための環境整備

- （論文登録を引き続き推進しながら）**新しい展開も**
- より多様なコンテンツ（研究データ・教材）の登録
  - 登録されたコンテンツの価値を最大限に高めるため、メタデータの高度化と利活用を促進

# 3. 後半期（2019-2021）の新しい展開

## 3-1. 多様なコンテンツの登録（研究データ）

- 2019年7月に「京都大学学術情報リポジトリ運用指針」を改正
- 研究成果の根拠となる「**研究データ**」の登録とDOI付与を開始（2022年2月末現在48件を登録）

Water Resources Research  
Research Article | Full Access  
Bedrock Groundwater Catchment Area Unveils Rainfall-Runoff Processes in Headwater Basins  
N. Masaoka, K. Kosugi, M. Fujimoto  
First published: 04 September 2021 | <https://doi.org/10.1029/2021WR029888>

Volume 57, Issue 9  
September 2021  
e2021WR029888

Figures References Related Information

Recommended

京都大学学術情報リポジトリ  
KURENAI 紅  
Kyoto University Research Information Repository / 100 農学研究科・農学部 / 研究データ  
京都大学  
KYOTO UNIVERSITY

Kyoto University Research Information Repository / 100 農学研究科・農学部 / 研究データ

ダウンロード数: 12

Permalink: <https://doi.org/10.14989/264612>

このアイテムのファイル:

ファイル	サイズ	フォーマット
Data for Bedrock groundwater catchment area unveils rainfall-runoff processes in headwater basins.xlsx	1.38 MB	Microsoft Excel
		XML

MD5 : 0694d761579eb0a694c86986743cf978

タイトル: Data for "Bedrock groundwater catchment area unveils rainfall-runoff processes in headwater basins"

著者: Masaoka, Naoya

著者名の別形: 正岡, 直也

キーワード: research data

発行日: 2-Aug-2021

出版者: Masaoka, Naoya



### 第二部 ④

研究データへのDOI付与：

KURENAIをランディングページとしてデータ使用状況を把握する

# 3. 後半期（2019-2021）の新しい展開

## 3-2. 多様なコンテンツの登録（教材）

- 2020年2月に全学共通科目用教科書『プログラミング演習Python2019』を公開
- ITニュースサイトなど、学外でも広く取り上げられ大きく話題に（52万件以上のダウンロード）
- 2021年10月公開の改訂版『プログラミング演習Python2021』も大きく話題に（半年足らずで20万件に迫るダウンロード）

➤ 『プログラミング演習Python2019(2021)』が紹介された主なメディア

- 京都大学、Pythonによるプログラミング演習教材を無料公開（CodeZine, 2020/02/20）  
<https://codezine.jp/article/detail/11999>
- 京大、Pythonによるプログラミング演習教材を無料公開（財経新聞, 2020/02/25）  
<https://www.zaikei.co.jp/article/20200225/554675.html>
- 京都大学、Pythonの基本を解説した無料の教科書「素晴らしい」「非常にわかりやすくて良い」（Ledge.ai, 2021/10/20）  
<https://ledge.ai/kyoto-u-ac-python/>
- 無料で読める、東大／京大の「Python教科書」電子書籍（Itmedia Inc., 2021/10/21）  
<https://atmarkit.itmedia.co.jp/ait/articles/2105/26/news025.html>
- 特別企画：喜多一先生インタビュー（京都大学図書館機構, 2020/10/22）  
<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/content0/1387525>

The screenshot shows the KURENAI website interface. At the top right, the Kyoto University logo is visible. A red box highlights the download count: **ダウンロード数: 524717**. Below this, there is a table of files for the item 'プログラミング演習 Python 2019'. The table has columns for 'ファイル', '記述', 'サイズ', and 'フォーマット'. Two files are listed: 'Version2020\_02\_13\_01.pdf' (6.08 MB, Adobe PDF) and 'Version2020\_02\_13\_02.pdf' (1.91 MB, Adobe PDF). Below the table, the item details are shown, including the title 'プログラミング演習 Python 2019', author '喜多一', and publication date '13-Feb-2020'.



### 第二部 ①

KURENAIからの教材の発信，その背景と課題：  
『プログラミング演習Python2019, 2021』を例に

# 3. 後半期（2019-2021）の新しい展開

## 3-3. メタデータの高度化と利活用促進

- 2021年12月に人社系紀要2誌の一部の論文に引用文献の書誌情報とハイパーリンクを整理し試行公開
- 国内の機関リポジトリ（人社系の研究成果の主たる公表場所）における先駆的な取り組み

KURENAI 京都大学 京大リポジトリ

Kyoto University Research Information Repository / 020 教育学研究科・教育学部 / 京都大学大学院教育学研究科紀要 / 第67号

ダウンロード数: 194

このアイテムの引用には次の識別子を使用してください: <http://hdl.handle.net/2433/262626>

ファイル	記述	サイズ	フォーマット
eda67_001.pdf		1.9 MB	Adobe PDF

このアイテムのタイトル: 毛沢東時代の読書規範 - 政治文化の連続性に着目して -

その他のタイトル: Code of reading practice in the Maoist era. focusing on the continuity of political culture

著者: 比嘉 暹 [ORCID iD](#) [研究機関](#)

所属: HIGO, Haruka

引用した文献（引用先文献）の書誌情報がハイパーリンクとともに表示

それぞれのハイパーリンクのクリック回数集計機能も実装

引用情報がDOI等を介してメタデータとして流通できるように、システム改修を継続中

URI: <http://hdl.handle.net/2433/262626>

出現コレクション: 第67号

**参考文献:**

李洪林 “読書無禁区” 読書. vol. 1, 1979, p. 2. <https://ci.nii.ac.jp/ncid/AN10429740>

比嘉 暹 “『読書』のメディア史 - 文化大革命から天安門事件への読書人的公共性 -”. 京都メディア史研究年報. vol. 5, 2019, p. 13-42. <http://hdl.handle.net/2433/241527>

信託大学図書館政治系調査組 “社会各職業群読書観調査”. 書林. vol. 9, 1988, p. 16. <https://ci.nii.ac.jp/ncid/AN10433566>

急功近利導致 読書無用論. 人民日報社. no. 1989年4月5日. 1989. <https://indonline.ndl.go.jp/#!/detail/R300000001-1a0000054025-00>

许欢. 中国阅读通史-民国卷-精-. Anhui Education Publishing House, 2017. <https://www.amazon.com/中国阅读通史-民国卷-精-许欢/dp/753686403>

Mittler, B. “Enjoying the Four Olds!” Oral Histories from a “Cultural Desert”. The Journal of Transcultural Studies. vol. 4, no. 1, 2013, p. 177-214. <https://doi.org/10.11588/jts.2013.1.10798>

孫沛東. 文革時期京滬知青階層化的個人閱讀”. 二十一世紀. vol. 156, 2016, p. 78-98. <https://www.aairlibrary.com/Publication/aiDetailedMesh?docid=P20200814001-201608-202009090014-202009090014-78-98>

徐. 友漁. 形形色色的读屏: 紅衛兵精神實質的形及演變. 中文大學出版社. 1999, p. 211-221. <https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA4473806>

印. 紅軍. 失敗者の足跡: 文化大革命期的青年思想. 中文大學出版社. 2009, p. 218-256. <https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA90605465>

銭. 理群著; 阿部. 幹雄 (ほか) 訳. 毛沢東と中国: ある知識人による中華人民共和国史. 青土社. 2012, p. n/a. <https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB11228930>

中津. 俊樹. “紅衛兵世代における読書動向について - 文化大革命以前を中心に -”. 中国21. vol. 39, 2014, p. 147-165. <http://hdl.nih.ac.jp/1082/00007261/>

Liu, Alan P. L. 慶應義塾大学新聞研究所訳. “中国の政治とコミュニケーション”. 慶応通信. 1976, p. n/a. <https://id.ndl.go.jp/bib/0000005699>

シャルチュエ. ロジェ著. 長谷川. 雄夫訳. 解題 書物の秩序. 文化科学高等研究出版局. 1993, p. 25. <https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN09034856>

Link, E. Perry (Eugene Perry). The uses of literature : life in the socialist Chinese literary system. Princeton University Press. 2000. <https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA46329438>

Mittler, Barbara. A continuous revolution : making sense of Cultural Revolution culture. Harvard University Press. 2012. <https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB11494333>

Hung, Chang-tai. Mao's new world : political culture in the early People's Republic. Cornell University Press. 2011, p. 5. <https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB07470218>

### 第二部 ②

人社系紀要のオープン・サイテーションの試み：  
「京都大学大学院教育学研究科紀要」「人文學報」

# 研究・教育成果の発信に KURENAIをご活用ください！

## 問合せ先

- KURENAI全般

repository[at]mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

- 研究データの公開

rs660 [at] mail2.adm.kyoto-u.ac.jp





# 京都大学貴重資料デジタルアーカイブ

附属図書館 図書館企画課  
行友 三輪子 (ゆきとも みわこ)



# 京都大学貴重資料デジタルアーカイブ

京都大学  
KYOTO UNIVERSITY

日本語 English

京都大学貴重資料デジタルアーカイブ

コレクション 検索 お知らせ サイトについて 京都大学図書館機構

京都大学貴重資料DAの公開資料が2万タイトル、160万画像超に  
京都大学貴重資料デジタルアーカイブでご覧いただくことのできる資料は、日本古典籍の古写本や古活字本、絵巻物、歴史記録、仏典、医学書、算術書、絵地図・図面と、実に多岐にわたっています。京都大学図書館機構では、本学が所蔵する貴重な資料をデジタル化・オープンアクセス化し、世界へ発信しています。

お知らせを見る

貴重資料デジタル化プロジェクトへのご支援を募集します  
京都大学が所蔵する貴重な古典籍資料のデジタル化・公開を進めるため、「京都大学貴重資料デジタルアーカイブ基金」を設置しました。詳細はこちらをご覧ください。

iif  
画像を自由に二次利用できる資料所蔵図書館・室を拡大しました  
インターネット上で公開している京都大学附属図書館、吉田南総合図書館、法学部図書室、経済学研究科・経済学部図書室、理学研究科各図書室及び理学部中央図書室、基礎物理学研究所所蔵資料の電子化画像は、利用申請・利用料の支払手続きをすることなく、自由に利用することができます。詳細は「コンテンツの二次利用について」をご覧ください。

ピックアップ

国宝 - 今昔物語集(鈴鹿本)

重要文化財

時代の記録

彩りの挿絵

<https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

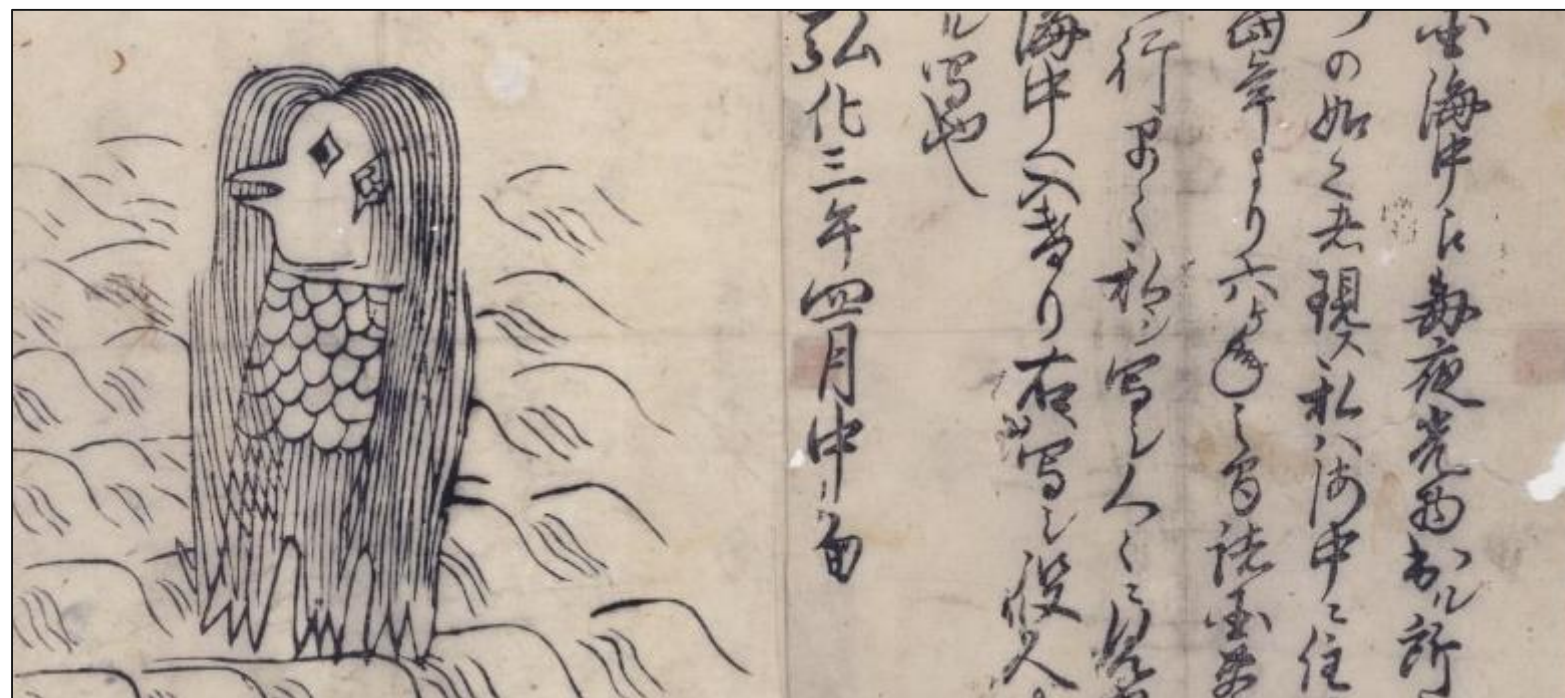
• 2017年公開

• 公開件数 (2022年2月現在)

**2万タイトル**  
**160万画像**



# よく使われる画像



左上：『天正遣欧使節肖像画』

(<https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/item/rb00007683>)

右上：『國女歌舞妓繪詞』

(<https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/item/rb00013520>)

左下：『アマビエの図』

(<https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/item/rb00000122>)

※『新聞文庫・絵』84コマ目

# 京都大学が所蔵する貴重資料を世界に発信するために

1

IIIFに対応した  
画像公開  
システム

2

公開画像の  
自由利用化

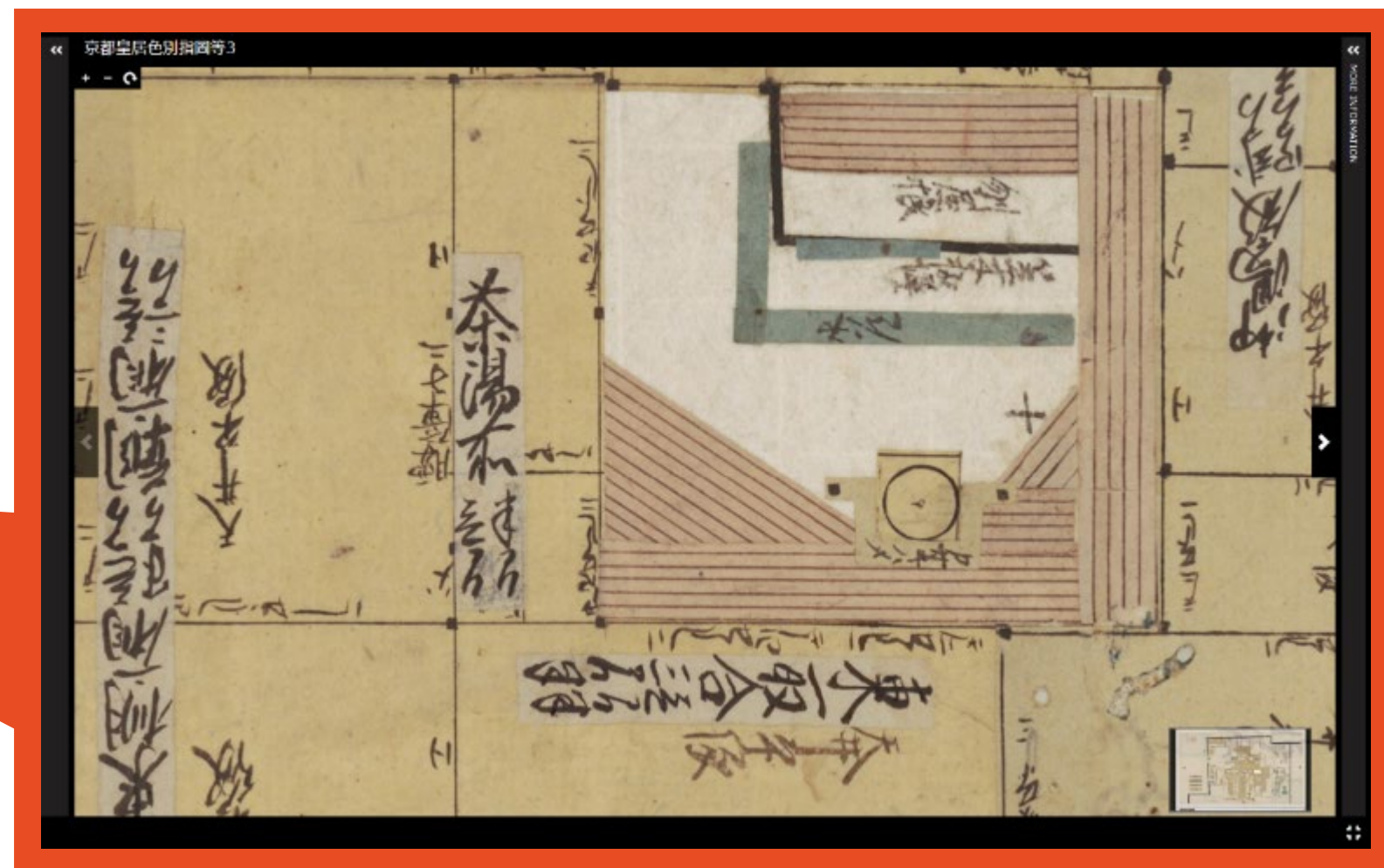
3

外部機関  
との連携



# ① IIFに対応した画像公開システム

- **IIF** (International Image Interoperability Framework)(トリプルアイエフ)  
…画像を相互利用するための国際的な規格
- **高精細な画像をスムーズ**に閲覧可能



# ①IIIFに対応した画像公開システム

- 外部サイトでの画像の利活用が容易



The screenshot displays the '新日本古典籍総合データベース' (New Japanese Classical Literature Comprehensive Database) interface. The main content area shows a digital viewer for '生涯用心集 7巻' (Shinwaishinshū Volume 7). The viewer displays two pages of a manuscript with handwritten Japanese text and a drawing of a face. A color calibration chart is visible on the right side of the viewer. Below the main viewer, there are several thumbnail images of other manuscript pages. On the right side of the interface, there is a sidebar with metadata for the document, including the title '生涯用心集', a table of contents, and collection information. At the bottom, there are links for the URI and the IIIF Manifest URI.

新日本古典籍総合データベース

生涯用心集 (しょうがいようじんしゅう)

生涯用心集 7巻

生涯用心集

【目次】

【簡易書誌】 [書誌詳細](#)

書誌ID : 100315724

著者 : 中立

刊写 : 写

冊数 : 1冊

コレクション :

京都大学附属図書館 富士川文庫 シ/651

著者 :

1. 八咫 中立 香

分類 : 医学

ライセンス

All Rights Reserved

画像の利用条件はコレクションごとに異なります。詳しくは利用条件のページをご覧ください。

複数画像をレイアウトして表示している場合は、元の画像のライセンスのみが表示され、後から表示した画像のライセンスは表示されません。ご注意ください。

URI <https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/100315724/viewer>

Manifest URI IIIF連携 [https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/iiif/metadata\\_manifest/RB00003074/manifest.json](https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/iiif/metadata_manifest/RB00003074/manifest.json)

例) 国文学研究資料館  
新日本古典籍総合データベース

<https://kotenseki.nijl.ac.jp/>

IIIFマニフェストを読み込むことで本学所蔵資料の画像を表示

例) 『生涯用心集』のIIIFマニフェスト  
[https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/iiif/metadata\\_manifest/RB00003074/manifest.json](https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/iiif/metadata_manifest/RB00003074/manifest.json)

## ②公開画像の自由利用化

2017年に**利用規則を改正**

### 改正前

- ・ 利用申請・利用料支払が必要



### 改正後

- ・ **資料のタイトルと原資料所蔵館を明示**することで、  
利用申請・利用料支払が**不要**



※ 2022年2月現在、公開画像を二次利用自由としているのは、京都大学附属図書館、吉田南総合図書館、法学部図書室、経済学研究科・経済学部図書室、理学研究科各図書室及び理学部中央図書室、総合博物館、基礎物理学研究所図書室

※ コンテンツの二次利用について <https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/reuse>



### ③外部機関との連携

- 例) **富士川文庫デジタル連携プロジェクト** (京都大学・慶應義塾大学)

[https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/rdl/digital\\_fujikawa/index.html](https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/rdl/digital_fujikawa/index.html)

#### 富士川文庫デジタル連携プロジェクト試行版

京都大学図書館機構と慶應義塾大学メディアセンターによる、富士川文庫のWeb上での統合を目指したプロジェクトです。三大学が分散して所蔵する富士川文庫資料を一堂に公開することを通じて日本医史学の研究・発展に寄与するとともに、IIIF (International Interoperability Image Framework) を活用した分散コレクションの仮想統合例を提示します。

試行版公開にあたり、酒井シツ順天堂大学特任教授・名誉教授よりメッセージをいただいております。

2020年8月26日 慶應義塾大学メディアセンターの資料129件が追加されました。  
2019年2月8日 東京大学大学院教育学研究科・教育学部図書室の資料172件が追加されました。  
2019年4月25日 慶應義塾大学メディアセンターの資料332件が追加されました。

Show 50 entries

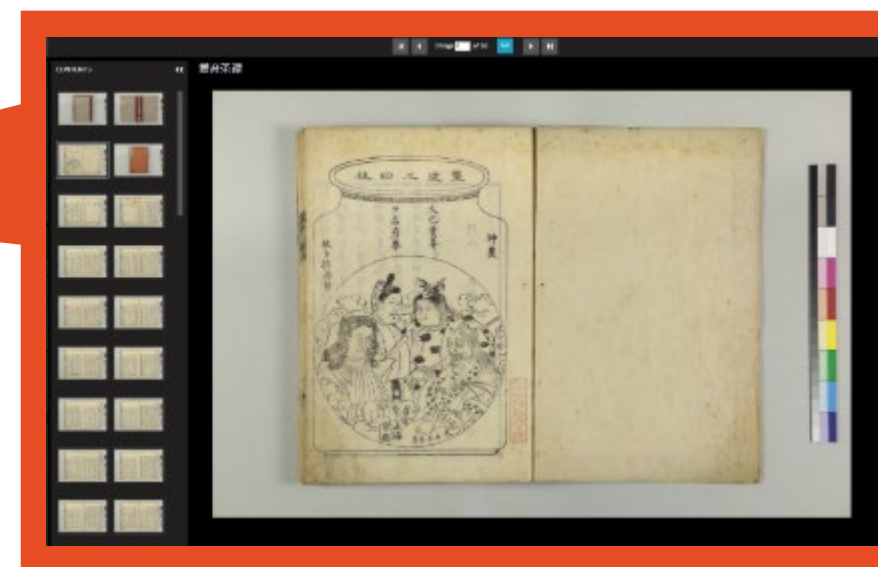
Search:

書誌タイトル	書誌タイトル (カナ)	書誌タイトル (ローマ字)	著者	出版年	所蔵
こあ〇〇里	[コアツモリ]	[koatsumori]			東京
愛育茶譚	アイイク サダン	Aiiku sadan	桑田和著	1857	京都
愛育附言	アイイク フゲン	Aiiku fugen			京都
挨穴資蒙 2巻	アイケツ シモウ	Aiketsu shimou	井岡冽著	1835	京都
挨穴集説	アイケツ シュウセツ	Aiketsu shuusetsu	多紀元簡(桂山、棟窓)著		京都
挨穴集説	アイケツ シュウセツ	Aiketsu shuusetsu			京都

京大・慶應大・東大が分散所蔵する富士川文庫資料をweb上で再統合

◎コレクション全体を可視化し、利便性を向上

◎IIIFの機能を活用した実例構築



# 結び

- ・ **公開にあたって技術面・制度面の環境を整え、さらに外部機関と連携することで、貴重資料を世界に発信**

## 参考リンク

- ・ 展示会・企画展・研究成果  
<https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/classification/pickup-exhibit>
- ・ 貴重資料をオープンアクセスにするには  
<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/content0/1388378>
- ・ 【学内者対象】 公開したい画像をお持ちの方へ  
<https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/classification/support>

## 問合せ先

[gazo660\[at\]mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:gazo660[at]mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

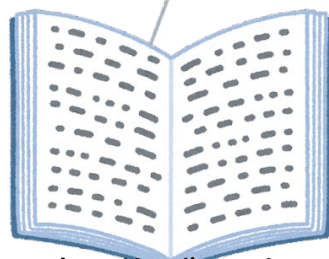
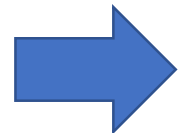
# よりリアルタイムで、より広汎な交流へ



Scuola di Atene  
(Raffaello Sanzio da Urbino)  
賢者が学堂に集まることで、  
学术交流が完結する理想郷

印刷術に対するキラーア  
プリケーションとしての  
学術雑誌の誕生 (1665)

世界の拡大



生み出された知識が図書、  
論文等の形に**パッケージ**  
**ング**され世界に流通



印刷術  
(15世紀)

電子情報通信を活用した  
新たなコミュニケーション  
手法への試行錯誤

いま  
ココ



パッケージングを前提とし  
ない**オンライン・リアルタ**  
**イムコミュニケーション**へ



電子情報通信  
(20世紀)





# 今後の展望： 研究プラットフォームの構築

- パッケージング以前の知を含む共有・オープン化
  - 学術資源のオープン化：京都大学貴重資料デジタルアーカイブ
  - 研究成果のオープン化：京都大学学術情報リポジトリ
- ↓
- 研究過程のオープン化：研究データ、プレプリント、オリジナル出版等
- 国際標準規格・技術の開発への参画
- リサーチリテラシーの習得支援

→ **オープンアクセス推進基盤を核とした、  
学術研究活動のプラットフォームの構築**

